

平成19年
3月10日(土)
13:00~17:00

参加費 **無料**

琉球弧 自然フォーラム

未来へ引き継ぐために

■基調講演

小林 寛子 エコツーリズムコンサルタント
「世界自然遺産・フレーザー島」

日下田 紀三 屋久町立屋久杉自然館館長
「世界自然遺産・屋久島の経緯と展望」

■琉球弧の取り組み

土屋 誠 琉球大学教授
「話題提供：世界自然遺産の観点からみた琉球弧」

環境省、沖縄県、鹿児島県の取り組みからの報告

■パネルディスカッション

「琉球弧の自然を未来へ引き継ぐために」

■パネル展

フレーザー島、屋久島 など

会場：健康文化村カルチャーリゾート **フェストーン 研修室**

申込み：FAXまたはE-mailにて、氏名、所属、連絡先住所・電話番号をご記入の上、事務局まで

琉球弧自然フォーラム事務局 FAX：098-861-6612 E-mail：r-forum@ckcnet.co.jp

主催：環境省、沖縄県、鹿児島県 問合せ先：沖縄県文化環境部自然保護課 TEL (098) 866-2243

申込み期限：3月6日(火)
定員150名先着順

琉球弧の自然を未来へ引き継ぐため、世界自然遺産地域から学びます。

九州の南端から台湾にいたる弓状の島々の連なりは「琉球弧」と呼ばれています。この琉球弧の島々は、本州や大陸と陸でつながったり、離れたりを繰り返したことにより、各島々で独自の生物の進化が見られ、世界でここだけにしかいない生物が多くみられるのが特徴です。このため、平成15年の「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、トカラ列島以南の奄美諸島、沖縄諸島及び先島諸島などの島々を包含した「琉球諸島」が世界自然遺産の候補地に選定されました。

既に世界自然遺産に登録された地域においては、世界的な価値が認められた自然を未来へ引き継ぐための様々な取り組みが進められています。本フォーラムでは、これらの地域の事例を通じて、琉球弧の自然をいかにして未来へ引き継いでいくかを考えます。

トカラ列島

奄美諸島

沖縄諸島

先島諸島

講演者の紹介



小林寛子 エコツーリズムコンサルタント

オーストラリアのエコツーリズム開発に1980年代後半から関り、日本においてもエコツーリズム協会の設立（1998年設立、現在はNPO法人日本エコツーリズム協会理事に就く）を含め、地域のエコツーリズム開発を支援してきた。現在は、エコツーリズムコンサルタントとして、オーストラリアにあるフレーザー島のエコツーリズム事業をはじめ、環境学習プログラムの企画運営、人材養成プログラムの企画運営などを地元の国立公園などと一緒に実施しているほか、オーストラリアのエコツアープログラムの企画・運営、国内の各地域とエコツーリズム開発を通じて訪日観光のための日本版エコツアーを企画・実施、また自然環境をテーマにしたドキュメンタリー製作など各種コンサルティングを行っている。著書には「エコツーリズムってなに？～フレーザー島からはじまった挑戦～」がある。



日下田紀三 屋久町立屋久杉自然館館長

NHKにカメラマンとして勤務し、『村の記録』『NHK特集』など主にドキュメンタリー番組を担当する。1981年にNHKを退職し、家族といっしょに屋久島へ移住する。1991年に鹿児島県の総合計画において、屋久島を自然の博物館にし、自然とのふれあいを通じて人間の活動と環境との関わりや自然の恵みについて学習する拠点として整備することが計画された。これに基づき「屋久島環境文化村構想」が挙げられ、地元の意見をまとめる組織として屋久島環境文化村研究会が発足した。その際、幹事長として当構想を推進したことをきっかけに、1992年より屋久町立屋久杉自然館館長（非常勤）を務める。屋久島に関する写真集や著作物を多数出版。ビデオ制作・講演会・テレビ出演などで長年にわたり屋久島の自然を紹介している。著書に「世界遺産 屋久島」「屋久島自然観察ガイド」などがある。



土屋誠 琉球大学教授

1971年に東北大学理学部を卒業後、東北大学大学院理学研究科にて理学博士の学位取得、琉球大学理学部教授となる。沖縄の特徴あるサンゴ礁や島嶼の自然を生かした研究を進め、「海洋ベントスの生態学（和田恵次：編著／共著）」、「サンゴ礁は異常事態－保全のキーワードはバランス」の著書があるほか、多くの研究実績を有する。また、2004年国際サンゴ礁シンポジウムの組織委員会委員長を務めたほか、多くの公開講座などで講演し、サンゴ礁の保全活動を精力的に行っている。2004年からは21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析（琉球大学）」の拠点リーダーも務めている。

プログラム

会場案内

健康文化村カルチャーリゾートフェストーン研修室

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜3-28-1

電話：098-898-1212

http://festone.jp

- 12:30 開場
- 13:00 開演／開会あいさつ
- 13:10 基調講演
小林寛子「世界自然遺産・フレーザー島」
日下田紀三「世界自然遺産・屋久島の経緯と展望」
- 14:10 琉球弧の取り組み
土屋誠「話題提供 世界自然遺産の観点から見た琉球弧」
環境省、沖縄県、鹿児島県の取り組みからの報告
- 15:00 休憩
- 15:15 パネルディスカッション
「琉球弧の自然を未来へ引き継ぐために」
コーディネーター：日下田紀三
コメンテーター：小林寛子
パネリスト：琉球弧の取り組み団体
- 17:00 終了

会場ではフレーザー島や屋久島などをパネルで展示します。

